







弾痕の壁

戦前・戦中・戦後の歴史を伝える

戦前の景観は、家屋敷や道路が碁盤状に整備され、田畑に囲まれたのどかな集落でしたが、日本軍が野屯し陣地構築を始めると、軍靴の音が響くようになりました。米軍上陸後の景観は、日米両軍の主力が激しい攻防戦を繰り返した場所となり、住民はもとより、住みなれた家屋敷なども大きな被害を受けました。戦後となった景観では、日米両軍の銃弾・砲弾が雨あられのごとく降り注ぎました。この弾痕の壁は、それを物語るものです。

宜野湾市

The wall of bullet holes

During pre-war Kakazu, many houses and the roads were in a grid pattern. This was a quiet village, surrounded by fields, but the sounds of the Japanese soldiers' boots, who were stationed nearby were now echoing in the village. An intense battle unfolded in Kakazu where the U.S. Forces had inflicted damage from the battles. Kakazu became a battlefield, the bullets and the bombs poured like rain from the Japanese and U.S. Forces. The wall of bullet holes tells us how fierce the battle was.

The bullet holes - shell craters created by rifles and art



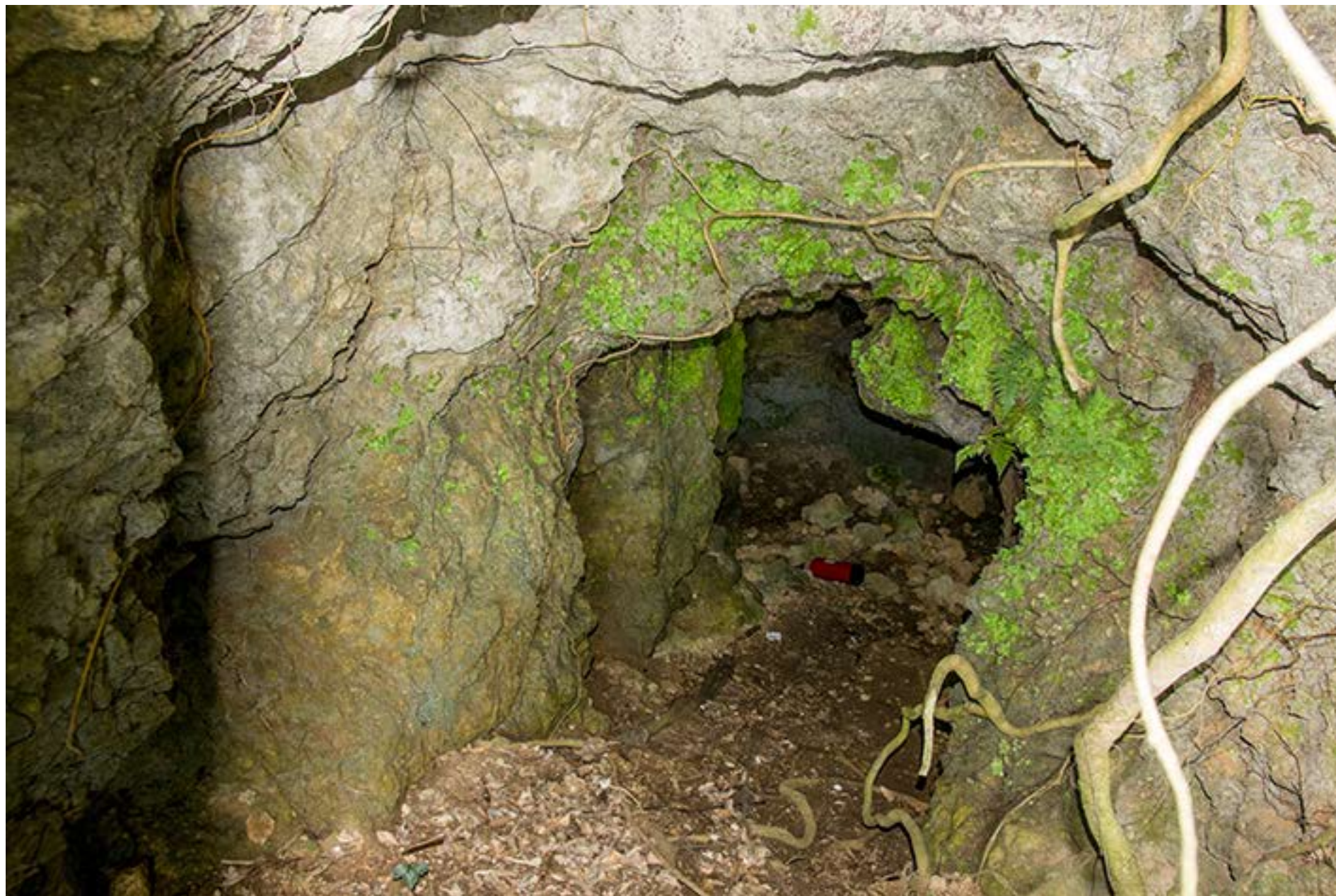
1942年11月17日、米軍の空襲により、この地区は大きな被害を受けました。戦後の景観は、戦前の景観とは大きく異なりました。この弾痕の壁は、戦時の激戦を物語るものです。























































































米海兵隊基地 普天間飛行場

(Misaki Marine Corps Air Station Futatabi)



宜野湾市 面積	1,921.4
人口	22,192
人口密度	11.57人/㎡
人口増加率	0.2%
人口減少率	0.0%

「宜野湾市は普天間飛行場を一日も早く返還させ、夢のあるまちづくりに取り組みます」

普天間飛行場の概要

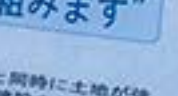
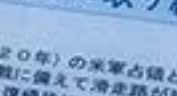
- 面積 4,800平方メートル
- 滑走路 2,800m×48m
- 駐屯数 3,021人

(平成19年現在)

- 軍人・家族 約3,000人
- 基地が占める市面積の割合 約24.4%
- 基地従業員数 202人

普天間飛行場の経緯

普天間飛行場は1945年(昭和20年)の米軍占領と同時に土地が強制収奪され、米陸軍中隊が本土決戦に備えて滑走路が建設されました。その後、基地の形態を変えて、本土復帰後においては国の提供施設として米海兵隊により普天間飛行場として使用されています。



2004年8月13日
沖縄国際大学への米軍CH
530Dヘリ墜落事故が発生
大学が主体であったこと
から事故的にも民間人への
人的被害はなかったもの
の、住宅地域に隣接する基
地の危険性を証明したものであった

跡地利用に関する分野別の方針

跡地利用の基本方針を実現するために必要な分野別の方針を示します

- 豊かな緑やオーシャンビューが
従来のリゾートの場をつくる
- 緑の中をリゾート感覚で
通り抜ける広域的な緑道ネットワーク
- 伝統的な集落の魅力と
沖繩らしい住宅地
- 跡地のイメージを高め、市民の「あしびな」
となる。(仮) 普天間公園
- 市民の交流の場として
跡地を活用する

- お問い合わせ先
- 普天間飛行場について
- 基地跡地利用について
- 基地従業員について
- 宜野湾市のホームページ
- 宜野湾市役所 基地跡地利用課
- 基地跡地利用課
- 「基地跡地」110番
- http://www.city.yonagoi.jp







































トーチカ

トーチカは、ロシア語で「点」や「拠点」を意味する軍事用語で、戦場の中心となる陣地のことです。このトーチカは鉄筋コンクリート製で、厚さは最大1mあり、内部は2m四方で、大人が3名ほど入れる広さです。北側の北洋流に向けて、撃撃するための銃眼（窓の中の青部分）が2の箇所あり、そこから小銃や機関銃などを撃ち、攻撃を攻撃しました。

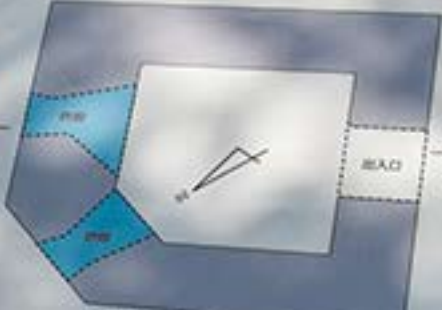
トーチカには、扉が設置されており、扉がひき出さなくなるほど強固さがあり、激しい戦闘を物陰っています。真鍮の開口部は、日本兵が出入りするためのものです。

宮野秀希

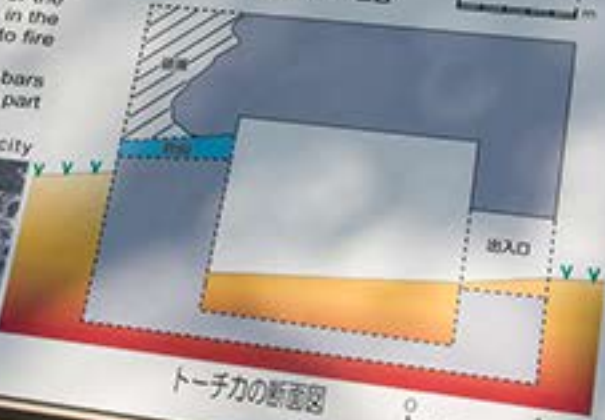
Tochka

Tochka is a Russian military term, describing "POINT" or "HUB" and an important defensive position during the battle. The Tochka is made of concrete, has a maximum thickness of one-meter, and three adults can be inside of the two meter, square, space. For the Hiyaragawa river in the north, there are two gun ports (blue parts in the right figure) in the Tochka and the Japanese Forces used them to fire rifles or machineguns at the attacking U.S. Forces. There are uncountable bullet holes in the Tochka. The reinforcing bars are visible and it shows us evidence of an intense battle. The opening part on the backside is only for the Japanese soldiers to go in and out.

Ginowan city



トーチカの平面図



トーチカの断面図

















... 3, 031人 ... 40m

普天間飛行場



■ CH53E スーパースタリオン
回転翼直径 24.08m
胴体全長 22.35m 全高 5.32m

■ CH
回転
胴体

基地が占める市面積
基地従業員数：20



タリオン

■CH-46E シーナイト
回転翼直径 15.24m
胴体全長 13.59m
全高 5.09m 座席数 32

5.32m

■UH-1N
回転翼直
長 12.92m
座席数 15

nter Futenma High C

全地従業員数：202人
...の割合：約24.4%



ト

■UH-1N ヒューイ
回転翼直径 14.69m 胴体全
長 12.92m 全高 4.53m
座席数 15

■AH-
回転翼
胴体全
合

...はこれ、
その後、基
て米国海兵隊



■AH-1W スーパーコブラ
回転翼直径 13.41m
胴体全長 13.56m
全高 3.68m 乗員 2名

■KC-1
空中給
全長 20

...基地の形態を変えて、本土行
米国海兵隊により普天間飛行場とし



ブラ

■KC-130 ハーキュリーズ
空中給油機 全幅 40.41m
全長 29.78m 全高 11.66m
乗員 5名 兵員 92名

■C-
全幅
全長
全高

時刻

飛行場として使用されています



■ C-12 ビーチクラフト
全幅 17.24m
全長 13.34m
全高 4.42m

■ 全全

の提供施設として
されています



ラフト



■UC-35

全幅 15.91m 全長 14.90m
全高 4.64m 乗員 2名
乗客 8名

本方向

























